



志學館大学生涯学習センター通信

第18回学校臨床セミナー ～志學館大学・鹿児島女子短期大学連携講座～ 「さまざまな育ちの世界に寄りそう」



今年度で18年目を迎える「学校臨床セミナー」では、マニュアル通りにいかない育ちの世界。とくに現代は発達障がい、児童虐待、いじめと多くの子どもの問題が取り上げられ、大人もどう関わっていいか、戸惑っています。今回は多様な領域で活躍する先生をお迎えし、子どもたちが持つ多様な背景や可能性への気づきを深め、実際の関わりにも生かせる内容となりました。(松本宏明)

講義1 「社会的養護のもとで暮らす子どもたち」

小林純子氏（志學館大学 人間関係学部講師、臨床心理士）

子どもの実態を追ったドキュメンタリー映像や、先生自身の経験も踏まえた分かりやすい内容は、援助者にとっても生活や実態を知る機会の少ない児童養護施設について、理解を深める良い機会となりました。



講義2 「困難のある人たちの背景を考える～“発達障がい”を中心に～」

野元明日香氏（志學館大学 心理相談センター 臨床心理士・臨床発達心理士）

二人一組での実習は、自分の意図が相手に「伝わらない」もどかしい体験。笑い声も飛び交う雰囲気での体験は、子どもの困り感を身を持って感じつつ支援を考えるきっかけとなったようです。



講義3 「発達障がい児はスポーツ好きになれるか」

谷川知士氏（鹿児島女子短期大学 生活科学科教授、社会福祉士、介護支援専門員）

障害児スポーツ支援の実践経験を持つ谷川先生。スポーツから得る楽しさと、競技ごとの苦しさなどを、ユーモアを交え分かりやすく伝えて頂き、参加者は、子どもが楽しく運動ができる支援を楽しく学ぶことができました。



よくわかる韓国語講座（初心者対象） ～韓国語で話そう～

鹿児島市の「サンエールかごしま」で5月～7月にかけて「よくわかる「韓国語講座（初心者対象）～韓国語で話そう」が開講されました。講師は県内初の通訳案内士（韓国語）を取得された本学教員入佐信宏先生です。この講座の大きな魅力は「大学の先生と共に学ぶ」です。また皆さんと楽しく学ぶことも大きな魅力の一つです。受講生は中学生や高校生も含む14名。講座を終えた受講生からは「質問コーナーが多いし雰囲気が良い」「韓国のことについて色々学べた」「ゆっくりだが読めるようになり嬉しかった」「若い方に教えて頂き助かりました」「歴史や文化から最近のスター等様々な授業が展開するのが魅力の一つ」という声が寄せられました。(岩下雅子)



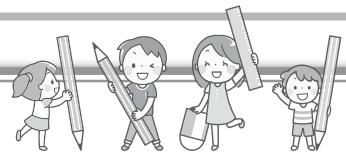
共修講座

2018年前期「共修講座」を受講されたみなさまの声をお届けします。

- ・ワクワクドキドキの講義でした。学生さんに助けをもらいながら何とか終了しました。学生さんは優しく礼儀正しくて気持ちよく通いました。（リーディングスキルズⅠ、英国の文化Ⅰ）
- ・原口先生の講義のおかげで大河ドラマ「西郷どん」も理解しやすく歴史の流れが良くわかります（ドラマは脚本化されていますが…）後期も受講したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。（日本史概説）
- ・日本史はもちろんリアルタイムで色んな面白いお話しが聞けて充実した時間を過ごさせて頂きありがとうございました。（日本史概説）
- ・タイミングのよい（150周年）歴史講義でした。（歴史学演習Ⅰ）
- ・仕事に生かせておりますので大変役にたっております。歴史を深く学ぶということがとても理解を深めます。（日本史特論）



共修講座開講式の様子



ニューライフカレッジ霧島

～志學館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会連携講座～

テーマ「隼人学」いま伝える地域の智慧～知る、語る、共に生きる～

19回目を迎えた今年度のニューライフカレッジ霧島・隼人学では、「いま伝える地域の智慧～知る、語る、共に生きる～」をテーマに、約50名の受講者が楽しく私達の地域について学んでいます。今年度は、講義によって地域を「知る」と同時に、「語り合い」ながら学び、「共に生きる」地域の未来を展望することを目指しています。前期（5月～9月）の内容についてご紹介します。会場は、国分公民館・志學館大学でした。（岩橋恵子）

第1回：5月12日（土）「日本のふねの歴史と西郷どんの時代の船について～船の構造と造船法～」

岩本才次氏（鹿児島工業高等専門学校 客員教授）

隼人学では初めての船の話でした。船の形状や材料は地域の植生や時代の社会状況を色濃く反映していることが、古代から近代までの船の歴史を通して詳細に語られました。とりわけ「西郷どんの時代（幕末から明治）」を、船を切り口に論じられた内容は興味深く、見えてくる世界がダイナミックに広がり、受講者からは「話がどんどん膨らむ話題で、自分でも調べてみたくなりました」といった感想も寄せられました。鹿児島はフェリーなども日常的に使われている地域です。船と地域の関係を先人の智慧から学びきっかけにもなったようです。（岩橋恵子）



第2回：6月9日（土）「大地と共に生きる～土地利用と減災の知恵～」

宗健郎氏（志學館大学人間関係学部 准教授）

過去の自然災害の具体例を、地図や写真を使用して分かりやすく説明があり、自然災害に対して、地域の人々が過去の経験によって得た知識と、専門家の知識との連携が必要であると力説されました。私たちが住む地域でも、日頃から、ハザードマップ等の正確な情報を得て、災害が発生したときの備えをしておくことの重要性に気づきました。「災害は忘れたころにやってくる。」改めてこの言葉を強く意識させられる内容でした。（小山正俊）



第3回：7月7日（土）「みんなに伝える☆お話しワールド」

志學館大学学生、岩下雅子氏（志學館大学人間関係学部特任講師）、種村エイ子氏（鹿児島国際大学元教授）

毎年1回実施している、本学バスで霧島市から鹿児島市紫原キャンパスまで来て頂く回でした。まず午前中は、図書館ラーニング commons にて、岩下雅子特任講師と図書サークル「ビブリアテーク」の学生達とともに、絵本の様々な活用方法を体験しながら学びました。見どころだったのは、各グループが紙芝居やエプロンシアターなどについて入念に準備した後の、全体披露の時間です。初めての体験に笑いが溢れ、和やかな発表の場となりました。さらに午後は、本学・かごしま県民大学連携講座「図書館をさわる」と合同で講義室にて学び、絵本の世界に浸ることができました。（志賀玲子）



第4回：8月11日（土）「霧島と明治維新」

小水流一樹氏（霧島市教育委員会 社会教育課）

ユーモアや体験談を交えたわかりやすい講話と、個人ワーク・グループワークを組み合わせたワークショップ形式で展開されました。天孫降臨や廃仏毀釈等の研究実績のある講師からは、これらと「明治維新」が繋がる新たな解釈まで示され、発見の多い時間となりました。また「霧島」や「隼人」と併せ、話を聞く前と後のイメージを比べることで、歴史探究の深みや価値、霧島の地の長が徐々に浮き彫りになり、質疑応答も活発に行われました。さらに、今回の文脈やテーマと連動して学べるユニークな事業が紹介され、企画の仕方についても考えさせられました。（志賀玲子）



第5回：9月8日（土）「地域の宝～薩摩狂句を伝え・楽しむ～」

牧本一丁目氏（霧島市公民館講座講師）

さつま狂句は、ざっくばらんに創ってみる。深刻にならない、緊張しないことが大切とのことでした。四つの要素を含む。人間を詠む、狂句味がある、鹿児島の方言を使う、五・七・五の定型詩。講座の前半は、狂句の起源、歴史についての話がありました。奈良時代の連歌、室町の連句、前句が消失した俳句、川柳、さらに狂句へと変遷がありました。後半は実践、席題は「孫」。受講生が狂句を創り、それを評価していただきました。（蒲地賢一郎）



図書館をきわめる～これであなたも Librarian ～

「大学の先生を中心に、図書館と本の知識をアカデミックに満喫してみませんか」というコンセプトでスタートした本学と鹿児島県民大学連携講座。和書を実際に紐解いたり、新しい図書館施設の姿に息を呑んだり、学校図書館の可能性を感じたり、絵本や吉野源三郎の名著に感銘を受けたりとまさに聞く楽しみ、知る楽しみを満喫した7回シリーズでした。（岩下雅子）

第1回：4月28日（土）

「ヨーロッパにおける本の歴史

～本の歴史は迫害の歴史～」

岩下雅子氏（志学館大学特任講師）

世界最初の書物の謎解きに始まり、書物の素材やデザインから映画で描かれた図書館の話題まで、そして話の舞台は西欧から日本まで、縦横無尽に本の歴史がスライドを使って興味深く語られました。そして何よりも講義の核心は、本の歴史とは、学問・思想弾圧や戦争の中で焼き捨てなどの迫害にさらされつつも、それと闘ってきた人間の歴史でもあるということです。本が当たり前に読めるのも、そうした闘いの中で本を守ってきた先人たちの営みがあったからこそというメッセージは、受講者に強い印象を残しました。（岩橋恵子）



第2回：5月19日（土）

「日本古典に見る本の話～和書の愉しみ～」

日高愛子氏（志学館大学講師）

和書の種類やくずし字アプリ等の親しみ方、伊勢物語の解釈などが平易に説明され、貴重なコレクションも手に取れました。受講者には、講師の語り口の柔らかさと、貴重本を取り扱う際の体験談や学生の反応の紹介など、臨場感のある説明も印象に残ったようです。「“和本リテラシー”は初めて」「素人でもよく解った」「アイデアがわきそう」と、初心者から関係者まで大変好評でした。（志賀玲子）



第3回：5月26日（土）

「社会教育と図書館～地域に根差した読書活動～」

池水聖子氏（鹿児島県青年会館艸舎事務局長）

鹿児島県青年会館・艸舎が18年間にわたり展開している「地域再発見のための読書活動」の事業を中心に、鹿児島の地域に根ざした読書活動が豊かに語られました。それは、鹿児島の昔話や郷土鹿児島を題材にした本や話を楽しむ活動はもちろん、民俗芸能や島唄・わらべ唄、祭りや食に至るまで、フィールド活動なども通して地域文化を楽しむ活動にまで広がり、読書活動のもつアクティブ性や創造性に気づかされる時間となりました。（岩橋恵子）



第4回：6月16日（土）

「未来に繋がる図書館～多様化する図書館～」

岩下雅子氏（志学館大学特任講師）

図書館は、時代の流れと共に変化、進化しています。知識と情報を与えるだけでなく、地域課題の創造的解決のためにも役立つという具合に、複合施設として世の中に貢献しています。図書館は、これから、大型ショッピングセンター、またはコンビニエンス・ストアのような役割を果たしていくのではと想像します。（蒲地賢一郎）



第5回：6月30日（土）

「PTAと学校図書館～地域開放 / 本と室内楽の楽しみ～」

中村美千代氏（加治木高校 PTA 母の会 元会長）

加治木高校の図書館で伝統的に行われてきた地域開放の取り組みが豊富なVTRで紹介されました。中村さんの素敵な生ナレーション付きでのその歴史の概説のほか、ビブリオバトル・朗読・歌唱・楽器の独奏や合奏など個性的で多様な表現を生かす共有する場が形成されている様子がわかる映像が次々と流されました。時間の都合で割愛せざるを得ない映像があったこと、VTRを受けた中村さんのお話をもっと聞きたかったことなど、若干の心残りはありましたが、新時代の学校図書館のあり方として聴衆に伝わったものは少なくないのではないでしょうか。（三浦卓）



第6回：7月7日（土）

「子どもの心に本を届ける

～椋鳩十からアニメーションまで～」

種村エイ子氏（鹿児島国際大学元教授）

種村エイ子氏（鹿児島国際大学元教授）をお迎えし、「子どもの心に本を届ける～椋鳩十からアニメーションまで～」というテーマで学びました。本への興味や様々な力を引き出し自発的な学びを生み出す手法“アニメーション”が先進事例を交えて解説され、またおすすめの絵本や貴重本も実物と共に紹介され、贅沢な時間となりました。（志賀玲子）



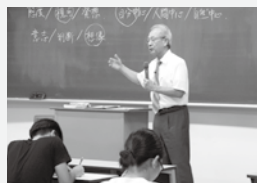
第7回：7月21日（土）

「読むことは生きること

～吉野源三郎「君たちはどう生きるか」～」

種村完司氏（鹿児島県立短期大学元学長）

吉野源三郎の著書「君たちはどう生きるか」は、近年、漫画化もされ、ベストセラーにもなっていますが、講演を聞く前は哲学の難しい話かと思っていました。しかし、先生が本の内容を説明されるお話は分かりやすく、厳しい人生を語りながら、穏やかな口調の講演に引き込まれてしまいました。勇気を持って自分に正直に生きる事の大切さを知る機会になりました。（小山正俊）



平成30年度 志學館大学 生涯学習センター 後期開講講座

ニューライフカレッジ霧島 ～志學館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会連携講座～

テーマ： **準入学** 「いま伝える地域の智恵～知る、語る、共に生きる～」

◆【会場】：鹿児島工業高等専門学校 時間：9:30～11:30

10/13 (土)	昔なつかし、わらべうた～一緒に、遊びもんそや！～ 三島理恵氏（株式会社松田ピアノ友社ミュージックフレンド主催わらべうた講師）	
11/10 (土)	発掘調査からみるグローバルな世界 霧島市教育委員会 社会教育課	
12/8 (土)	地域が和む魔法の力～かごしま弁と共に～ 植村紀子氏（児童文学作家・志學館大学非常勤講師）	
1/12 (土)	西郷どんが愛した日当山温泉郷の魅力 米田知弘氏（日当山温泉旅館組合長）	
2/9 (土)	いま伝えよう！地域の智恵～共に生きるために～ コーディネーター岩橋恵子氏（志學館大学法学部教授） 閉講式	

平成30年度 志學館大学・鹿児島市生涯学習プラザ協働講座

よくわかる中国語講座（初心者対象）～中国語で話そう～

映画やドラマを少しでも中国語で理解したい方、中国・台湾旅行で中国語を使ってみたいなど中国語に関心のある方ならどなたでも参加できます。本講座では、中国語を初めてする方のために、中国語の基本的な文字と発音からわかりやすく授業を進めていきます。講師は、志學館大学の谷口明夫名誉教授。中国語通訳案内士の国家資格を持ち日中・日台の国際交流に尽力しています。

講 師：谷口明夫氏（志學館大学名誉教授・中国語通訳案内士）

日 時：10月2日（火）～12月11日（火）毎週火曜日（10回講座）19:00～20:30

場 所：サンエールかごしま（4階中研修室）

対 象：鹿児島市民または鹿児島市内に通学・通勤している方

受講料：12,000円（全10回分） 定員：20名（先着順）



よくわかる英語講座（brush up コース）～英語で深く話そう～

英語の文化、政治、歴史、言語、生活習慣などについて、英語を使って、意見、考えを述べたり、読む課題を活用しながら深く学んでいきます。旅行で英語を使ってみたい方、海外の友達と英語で話したい方等にも役立つ講座です。自己学習、そして他者との英語でのコミュニケーションを通して、さらなる高い英語を身につけていきましょう。講師は、英国出身のマーカス・シオボールド氏で、本場の英語が学べます。

講 師：マーカス・シオボールド氏（志學館大学人間関係学部講師）

日 時：10月1日（月）～12月10日（月）毎週月曜日（10回講座）18:00～19:30

場 所：志學館大学 COSMOS HALL 2F

対 象：学生・社会人の方

受講料：12,000円（全10回分） 定員：20名（先着順）



<編集後記>

まだまだ暑い日が続きますが、2018年もあと3ヵ月ちょっと。時の移り変わりの早さを感じます。しかし、いくら時が早く流れようとも、学びは一生のこと。みなさまの学びに本センターをご活用ください。（三浦・森）



お問い合わせ・お申し込み先

志學館大学生涯学習センター

住 所 〒890-8504 鹿児島市紫原1丁目59-1
Tel.099-812-8501（代表）Fax.099-257-0308
URL <http://www.life.shigakukan.ac.jp>
Email life@shigakukan.ac.jp